



炬火を掲げていざ謳う

No.54



我らの泉鳥取

2023年9月4日(月)

編集・発行 大阪府立泉鳥取高等学校 広報委員会

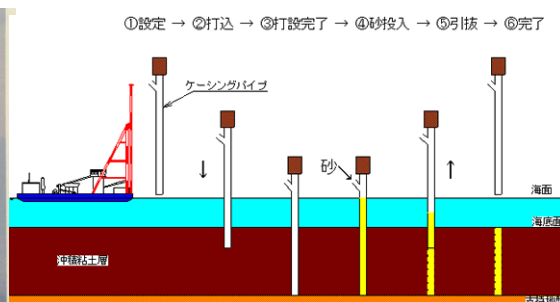
大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

関西国際空港（KIX）開港

— 大口の求人を狙え！ —

平成6年(1994)9月4日開港以来、西日本の玄関として、多くの乗降客と貨物を取り扱う関西国際空港。泉鳥取高校は関西国際空港が最もよく見える学校として、その発展を見守るとともに、空港関連の企業に人材を送り続けてきました。



サンドドレーン工法解説(奇神建設株式会社サイトより)

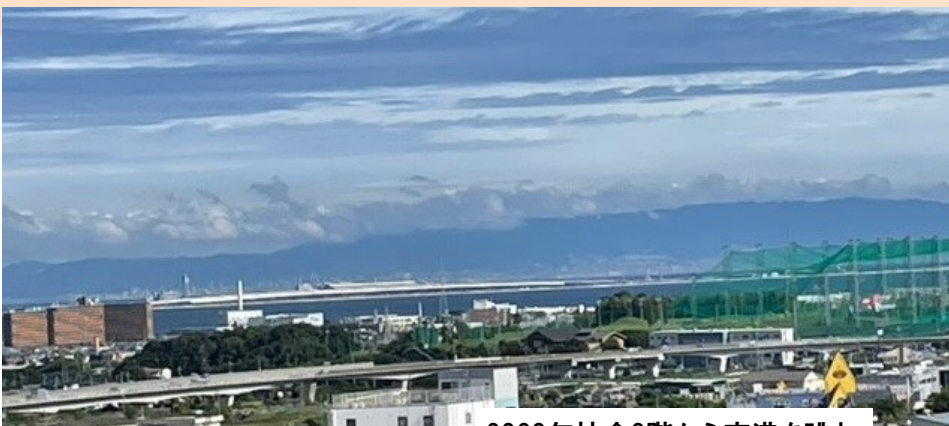
https://www.yorigami.co.jp/communication/structures/ure1_1.html

昭和62(1987)年に埋め立てが始まりました。左の写真は、泉鳥取高校から見た、開港の着工直後の写真です。サンドドレー

ン工法(砂の杭を打ち、埋め立ての土の重みで海水を追い出す工法)の砂杭の櫓が立ち並んで、静かな海が騒がしくなりました。開港の工事は大阪湾の地盤改良に手間取り、1期工事は7年の歳月が必要でした。

泉鳥取高校は、来るべき開港に伴って創出される6万人から8万人ともいわれる雇用を確保すべく、1988年頃から空港関連の事業所に企業訪問、求人依頼を続けました。

空港関連の初の求人は、1989年、地上業務(グランドサービス)の事業所、さらに航空貨物を取り扱う運輸業者の求人から始まりました。最初



2023年校舎3階から空港を眺む

にグランドサービスの事業所に就職した卒業生(12期生)は、成田で勤務をして、開港開港に備えました。またターミナルビルに入る外食や土産物を販売するデパートなど、多くの求人を得ました。この時お付き合いを始め、現在までお付き合いのある企業が複数あり、今もなお、求人票を送っていただいています。

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html> からpdf版をダウンロードできます。